

岩手県金融経済概況（2020年6月）

1. 概況

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しい状況が続いている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。公共投資は、趨勢的には減少傾向にあるものの、足もとは増加している。住宅投資は、減少している。設備投資は弱めの動きとなっている。

生産は、弱い動きとなっている。

労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱めの動きとなっている。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年と同水準となった。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。

百貨店売上高（全店舗ベース；2020年6月）は、9ヵ月振りに前年を上回った（前年比+2.4%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；2020年6月）は、6ヵ月連続で前年を上回った（前年比+1.2%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；2020年6月）は、9ヵ月連続で前年を下回った（前年比△17.2%）。

この間、サービス消費などでの新型コロナウイルス感染症の影響は続いている。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2020年6月）は、4ヵ月連続で前年を上回った（前年比+38.6%）。

新設住宅着工戸数（2020年5月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△25.9%）。

—— 持家（前年比△34.1%）は3ヵ月振りに前年を下回った。貸家（同△13.4%）は6ヵ月連続で前年を下回った。分譲（同△35.8%）は2ヵ月連続で前年を下回った。

民間設備投資（2020年6月短観ベース）は、2019年度（実績）については前回調査比上方修正となったものの前年を下回った（前年比△1.1%）。2020年度（計画）についても、前年を下回る計画（同△8.5%）となっている。

—— 2020年度については、製造業では前年を上回る計画（前年比+3.3%）となっているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の投資を先送りする先もみられている。非製造業では、前年の大口案件の反動減等から前年を下回る計画（同△22.6%）となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2020年5月）は、11ヵ月連続で前年を下回った（前年比△29.6%）。

3. 生産動向

生産は、弱い動きとなっている。

鉱工業生産指数（季節調整値；2020年5月）は、5ヵ月連続で前月を下回った（前月比△15.7%）。

—— 主要業種別にみると、金属製品、窯業・土石製品が上昇した一方、輸送機械、生産用機械、はん用機械などが低下した。

なお、四半期の動きをみると、2020/1～3月は3期振りに前期を下回った（2019/4～6月：前期比△1.7%、7～9月：同+1.9%、10～12月：同+2.1%、2020/1～3月：同△5.9%）。

4. 雇用・所得動向

労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱めの動きとなっている。

有効求人倍率（季節調整値；2020年5月）は、1.01倍と前月を下回った（2013年5月以降85ヵ月連続で1.00倍以上＜過去最長＞）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；2020年6月）は、6ヵ月連続で前年を下回った（前年比△0.2%）。

雇用者所得（県内合計値；2020年5月）は、名目賃金指数（前年比△1.1%）が前年を下回ったほか、常用雇用指数（同△0.9%）も前年を下回ったことから、5ヵ月振りに前年を下回った（同△2.0%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；2020年6月）は、食料（外食等）、住居、被服及び履物などが上昇した一方、諸雑費、教育、交通・通信などが下落したことから、前年と同水準となった（前年比0.0%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2020年6月）は、6件、758百万円（前年同月；3件、121百万円）と件数、金額とも前年を上回った。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2020年5月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2020年5月）は前月に比べて低下した。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）

ホームページアドレス <http://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

